

ロータリー財団の補助金と 国際奉仕の事例

国際ロータリー第2610地区
国際奉仕・ロータリー財団合同クラブ委員長会議

国際ロータリー第2地域

RRFCアドバイザー

高橋 茂樹



2023-24年度ロータリー財団地域コーディネーターアドバイザーを務めます高橋茂樹です。



所属クラブは東京世田谷ロータリークラブです。

RI第2750地区のロータリー財団委員会には過去18年間在籍をし、その間に8年間副委員長、3年間委員長をさせていただきました。

そして、その後2020年より3年間ロータリー財団地域コーディネーター（ARRFC）を務め、現年度は、RRFCアドバイザーを務めています。

どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

RRFCアドバイザーとは？

- 日本は3つの地域に分かれていて、それぞれの地域にRRFCとARRFCがいます。
- RRFCは、「Regional Rotary Foundation Coordinator (ロータリー財団地域コーディネーター)」のことです。
- ARRFCは、RRFCの補佐をして、RRFCが担当する地域の地区を手分けして担当します。
- 第2地域のRRFCは第2760地区、江南RCの伊藤靖祐さんです。
- 今年度、私は、3年間のARRFCを終え、伊藤靖祐RRFCのアドバイザーを務めています。

国際ロータリーと ロータリー財団の比較

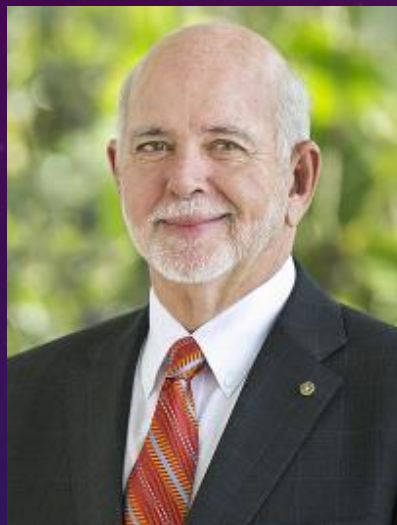
国際ロータリー (RI)

- * イリノイ州の州法に則り登記された非営利法人
- * 世界中のロータリアンからの人頭分担金で運営
- * 国際ロータリー理事会が運営

ロータリー財団 (TRF)

- * イリノイ州の州法に則り登記された非営利法人
- * 世界中のロータリアンからの寄付金の運用益で運営
- * ロータリー財団管理委員会が運営

2023-24年度の ロータリー財団管理委員会



管理委員長
バリー・ラシン
East Nassauロータリークラブ
バハマ



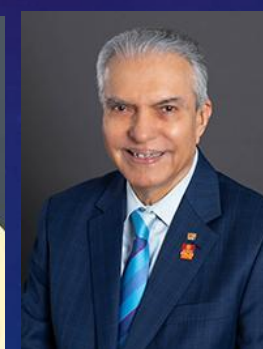
管理委員長エレクト
マーク・ダニエル・マローニー
Decaturロータリークラブ
米国 アラバマ州



ジェニファー・ジョーンズ



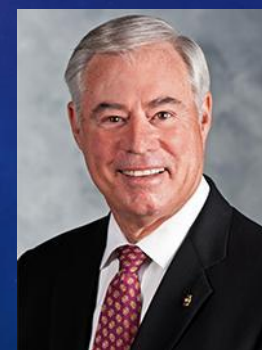
ホルガー・クナーク



ロータリー財団は、1983年に米国イリノイ州法の法令の下に登録された非営利法人です。

ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーだけです。ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」と言います。

ロータリー財団は、4名の元RI会長を含む15名のロータリー財団管理委員と事務総長によって運営されています。



ジョン・ヒューコ

今日、私が皆様へ伝えたいこと

それは、皆様にロータリー財団の理解を深めていただき、好きになっていただくこと。そして、今、ロータリーがロータリー財団を持っていることがいかに大切なことであるかを感じていただければということです。

今日は、特に国際奉仕に特化させ、皆様には、是非、このロータリー財団を上手に活用していただけたらということです。



ロータリー財団の誕生(1917年)

「世界でよいことをするための
基金を作るのが、極めて適切で
あると思われる。」

— アーチ C. クランフ

1917年6月18日、ジョージア州アトランタ

第8回ロータリー一年次大会



アーチ C. クランフとロータリー財団

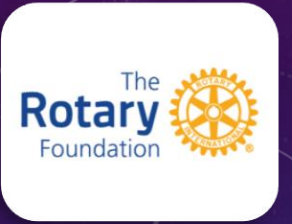


- 当時は、ヨーロッパで第一次世界大戦の戦火が激しくなっていた時代でした。
- そんな中、クランフは、1917年6月18日にアトランタで開催された第8回ロータリー年次大会の中で、基金の設立を提案しました。
- クランフの提案に対し、「財団はクランフのたわいない夢だ」と言うことを述べる人たちに、クランフは必死の思いで立ち向かっていきました。
- 最初の財団への寄付は、カンサスシティ・ロータリークラブからのたった26ドル50セントでした。

アーチ C. クランフとロータリー財団

- 「アーチ クランフ基金」と呼ばれていた基金が、「ロータリー財団」という名称になったのは、1928年のことでした。
- クランフは、初代ロータリー財団管理委員長に就任し、5年間、ロータリー財団の基礎作りに没頭しました。
- それでもまだ、ロータリーのトップレベルのリーダーの一部が、ロータリー財団を解体させようとする動きをしていました。
- 第二次世界大戦が世界を苦境に陥れる中でも、クランフは、財団のもっとも忠実な擁護者であり続けました。

アーチ C. クランフが行なったこと



クランフは、1914年に国際ロータリー連合会（今の国際ロータリー）の理事になり、1916-17年度会長に就任しました。彼は、ロータリー財団を設立させただけでなく、全ロータリークラブの標準定款を起草する委員会の委員長として、地区を分割するというコンセプトを生み出し、地区ガバナーの役職を創設し、年次地区大会のプランを立案しました。

そんなクランプが創立させた ロータリー財団がロータリーにもたらしたこと

ロータリーは、ロータリー財団を設立したことにより、ロータリーの新しい一歩を踏み出すとともに、いろいろな可能性を実現する手段を手に入れることができました。

ロータリー財団の標語：

世界でよいことをしよう
(Doing good in the world)



それではここで、ロータリー財団への 寄付を確認してみましょう！

年次寄付

1,000ドル以上の寄付者をポール・ハリス・フェローと言います。3年間利殖に回し、その運用益を運営費等にあてます。3年後に全額プロジェクトに使われます。

恒久基金

1,000ドル以上の寄付者をベネファクターと言います。基金として積み上げ、元金には手をつけずにその運用益のみを使用します。

使途指定寄付

ポリオ・プラスへの寄付やマッチング・グラントへの拠出金が該当します。

ロータリー財団の基本的なプログラムは、以下の通りです。

- 地区補助金を利用したプログラム
- グローバル補助金を利用したプログラム

これらの補助金を利用して、人道的プログラム、教育的プログラム等が行なわれています。教育的プログラムには、地区ロータリー奨学金、VTT等のプログラムも含まれます。

- ポリオプラス・プログラム
- ロータリー平和フェローシップ・プログラム

※青少年交換学生、インターアクト、ローターアクト、RYLA、米山奨学生等は、ロータリー財団のプログラムではありません。

国際奉仕を行なうための補助金

• 地区補助金を活用した国際奉仕

メリット: 地区に申請をすれば良いので比較的申請が簡単

デメリット: 金額が少額なので、大きなプロジェクトには向かない。

その年度に終了しなければならないので、期間が短い。

• グローバル補助金を活用した国際奉仕

メリット: 地区DDFからの補助金にロータリー財団本部からの補助金が出るので、少ない拠出金で多額な資金を使うことができる。

デメリット: 申請が難しい。ロータリー財団本部に申請書を提出

実施国のロータリークラブにホストクラブになってもらい、共同でプロジェクトを行なわなければならない。

事前にモニタリング調査を行わなければならない。

基本的には、補助金の承認から1年間で実施。ただし、中間報告書を提出すれば延長は可能

2007－08年度

フィリピン、ルソン島南部及びミンドロ島の 10市町村に消防車を寄贈するプロジェクト

このプロジェクトは、地区内17クラブによる共同事業です。

ホストパートナー

ルセナロータリークラブ



フィリピン、ルソン島の市町村に中古の消防車、救急車、ゴミ収集車を寄贈するプロジェクトは、地区内17クラブの合同プロジェクトとして2002－03年度よりスタートしました。

その間、3度のマッチンググラントの補助金を使い、合計72台の車両を寄贈しました。

この2007－08年度のマッチンググラントは、東京世田谷ロータリークラブがプライマリーコンタクトとなった2度目のプロジェクトでした。

2007－08年度の申請は、現地の不手際等があり、結局2009年7月に贈呈式を挙行し、同年12月にファイルクローズとなりました。



贈呈式に先立ち消防車の確認と鍵の引き渡し式を挙げる。すでに登録を済ませた車両を引き取りに今回の寄贈先である市町村より担当者がスービックに集まりました。



総経費: 42,061.57ドル
 DDFから6,000ドル、WFから14,850ドルの補助金をいただきました。
Total cost: 42,061.57 dollars
 We had a subsidy of 6,000 dollars from DDF, 14,850 dollars from WF.

贈呈式(スービックにて)

(2009年7月19日)

贈呈式では、寄贈先の市町村より、車両を無償譲渡して下さった日本の3つの市(町田市、調布市、匝瑳市)と担当したロータリークラブ(町田サルビアRC、調布むらさきRC、世田谷RC)宛てに感謝状をいただきました。

特にホストクラブがあるルセナ市からは、市長自ら参加され、感謝の意が述べられました。



The
Rotary
Foundation



このプロジェクトは、来る「未来の夢計画」に向けて、地区内のクラブが合同で行ない、一つのクラブでは成し得ない大きなプロジェクトを行なったことが、大きな特徴です。

2008－09年度

ミクロネシア連邦ポンペイ州に スクールバスを寄贈するプロジェクト

The
Rotary
Foundation

このプロジェクトは、同じ地区であっても別な国と言うことで実現しました。

ホストパートナー

ポンペイロータリークラブ



ポンペイ島の交通事情の悪さから、遠隔地に住む子供たちは徒歩での通学を余儀なくされていました。そこで、幼稚園に通う子供たちのために中古のスクールバスを寄贈しました。





贈呈式(グアム地区大会に合わせて挙行) (2009年2月20日)

贈呈式は、グアムで開催された地区大会時に世田谷RCからポンペイRCへの贈呈式が挙行されました。ポンペイへの輸送を世田谷RCが受け持ち、現地での贈呈式は、ポンペイRCが受け持ちました。

総経費: 11, 699. 99ドル
Total cost : 11,699.99 Dollars

DDFから4, 000ドル、WFから5, 200ドルの補助金をいただきました。



2009－10年度

タイのサラブリ市の看護学校に 自転車50台を寄贈するプロジェクト



ロータリアンが自ら汗を流したプロジェクトであり、また、効果的な広報ができたプロジェクトでした。

タイ国サラブリ市にあるクインマザー看護学校の学生が、インターンとして近隣の村を往診するための自転車50台を寄贈しました。



双方のロータリアンが協力をして自転車の最終組み立てを実施



ホストパートナー
サラブリロータリークラブ



総経費：11,931.25ドル
Total cost : 11,931.25 Dollars

世田谷RCの拠出金：
2,781.25ドル
サラブリRCの拠出金：
100ドル
DDFから4,000ドル、WFから5,050ドルの補助金をいただきました。

贈呈式

(2009年11月21日)

サラブリー市中心にある高校の敷地内にて執り行われました。



ロータリーアン、看護学校の先生と生徒、地元の名士が多数参加され盛大に挙行されました。また、マスコミもテレビ局や新聞社等が取材に訪れました。



看護学校の生徒たちがデモンストレーションをしながら贈呈式会場から看護学校まで自転車に乗って町中を行進しました。通りに面した商店等から、大勢の人々が手を振ってこの行進を見ていました。

まさに、地域者とロータリーが一つになった瞬間でした。

このことは、素晴らしいロータリーの奉仕活動の広報となりました。

クイーンマザー看護学校を訪問



サラブリロータリークラブの例会に参加

https://youtu.be/f-t3Un_o8T0

東京世田谷ロータリークラブの その後のGGを活用した国際奉仕活動

- 2022－23年度

タイの小学校のトイレの改修工事プロジェクトを再開
本年10月に現地で贈呈式を行う予定

- 2023－24年度

姉妹クラブである台北西北ロータリークラブとともに、
台湾の小学校への教育機材の寄贈を行なう準備中

モンチュン復興プロジェクト

参加16地区

- 第2520地区 岩手・宮城
- 第2530地区 福島
- 第2560地区 新潟
- 第2570地区 埼玉西北
- 第2600地区 長野
- 第2610地区 石川・富山
- 第2620地区 静岡・山梨
- 第2670地区 愛媛・香川・高知・徳島
- 第2730地区 鹿児島・宮崎
- 第2740地区 長崎・佐賀
- 第2750地区 東京・PBG
- 第2760地区 愛知
- 第2770地区 埼玉南東
- 第2800地区 山形
- 第2830地区 青森
- 第2840地区 群馬

ウクライナ災害救援基金



Rotary
Ukraine



MOSHCHUN PROJECT
Modular houses for those
who lost their homes

The
Rotary
Foundation



- First modular house produced.
- Rotary action took place to prepare the location.
- First modular house delivered and installed in Moshchun.
- **Your donations will help us to move forward! Thank you!**




 MOSHCHUN PROJECT
 Modular houses for those
 who lost their homes



PHSの普及にご協力ください。

ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)とは、毎年1,000米ドル以上を年次基金、ポリオプラス基金、財団が承認した補助金のいずれかに寄付をしてくださるロータリー会員とロータリー財団支援者を認証するものです。

各地区には、地区ガバナーより任命されたポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーターがおり、地区内でPHSのご案内や入会の推進を行ないます。

PHS会員を増やすと・・・

個人にとってのメリット

→10年間続けると「メジャードナー」になれます。

クラブや地区にとってのメリット

→年次基金、ポリオプラス基金への安定した寄付につながります。

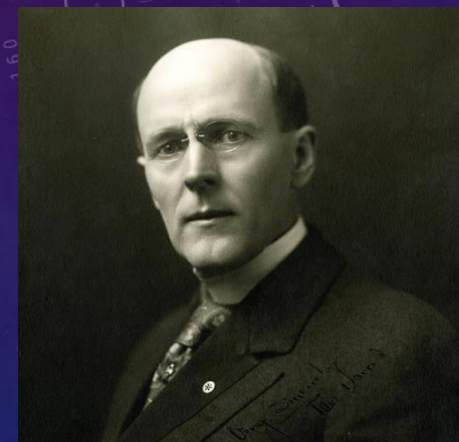
→3年後に地区に戻ってくるDDFの金額がより大きくなります。

ロータリーにとってのメリット

→世界中からの寄付が増えます。

→世界中でより多くの、より充実した奉仕プロジェクトを行なうことができます。

→ロータリーの目的である世界中で安心、安全に生活ができる平和の推進に貢献できます。





**ポール・ハリス・
ソサエティに
ご入会ください**

あなたのやさしい、温かい心を、
世界中のまだ手を差し伸べなく
てはならない多くの人たちに！

よろしくお願ひします。
ご清聴ありがとうございました。